

指定管理施設事業評価票(令和4年度分)

1. 施設所管課 観光経済部 商工課

2. 指定管理施設概要

Table with 2 columns: 施設名, 指定管理者, 指定期間, 選定方法, 施設設置目的, 主な実施事業. Includes details like 日光市中心市街地集客拠点施設, オアシス今市, and implementation goals.

3. 利用状況(目標と実績)

Table with 12 columns: 成果指標, 単位, 平成30年度(目標, 実績), 令和元年度(目標, 実績), 令和2年度(目標, 実績), 令和3年度(目標, 実績), 令和4年度(目標, 実績). Rows include museum users, hall utilization, and field utilization.

4. 指定管理業務にかかる収支状況

(単位:円)

Table with 6 columns: 区分, 平成30年度, 令和元年度, 令和2年度, 令和3年度, 令和4年度. Rows include 収入計, 支出計, 事業収支, and various fee rates.

※着色セルは、自動計算としている。

Table with 2 columns: 補足説明, (empty cells for additional notes).

サービス改善の状況

Table with 1 column: 補足説明. Contains text about service improvements like SNS promotion, online meetings, and piano activities.

5. 管理運営状況

評価項目		評価基準	指定管理者自己評価	施設所管課評価
①サービスの履行の確認	人員体制	事業計画に即し、人員を過不足なく配置している。 必要な資格、経験を有する人員が確保されている。	B	B
	外部委託	事業計画に即し、計画的に研修等を年1回実施している。	B	B
		外部委託の内容は、事前に市の承認を受けており、適切である。 外部委託業者に対して、協定書等を遵守させている。	B	B
	法令遵守等	法令、条例等に基づき、必要な点検、報告等を行っている。	B	B
	個人情報保護	個人情報保護に関する法令を遵守している。	B	B
		個人情報の漏えい、滅失等の事故防止策に対する研修を年1回行っている。	B	B
	情報公開	情報公開に関する法令や条例に準拠した運用がなされている。	B	B
		協定書に従い、情報を適切に管理し、公表している。	B	B
	管理記録	業務日誌等を適切に整備、保管している。	B	B
		点検、修繕等の履歴が適切に記録、保管されている。	B	B
連絡調整	協定書に従い、各報告書等を、市に提出している。	B	B	
	市、関係団体等との連絡調整を適切に行っている。	B	B	
緊急対応	事故、災害等の緊急時の連絡体制が整備されている。	B	B	
	緊急時のマニュアルが整備され、年1回訓練を行っている。	B	B	
	避難経路が適切に確保されている。	B	B	
総括	「業務の実施体制」に関する評価【17項目】	B	B	
②サービスの質の評価	施設管理	協定書に従い、開館日、閉館時間等を遵守している。 事故防止及び安全確保のための研修を年1回行っている。	B	B
	利用者対応	利用許可、案内等を迅速かつ適切に行っている。	B	B
		利用者に対して、設備、備品等を適切に提供している。 言葉遣い、態度、服装等接遇が適切である。	B	B
		事業計画に即し、受託事業を実施している。 施設の目的に沿った自主事業を実施している。	A	B
	維持管理	事業内容がサービス水準の向上に寄与している。	A	B
		仕様書等に従い、清掃、警備、衛生管理等を適切に行っている。	B	B
		仕様書等に従い、施設や設備の保守管理を行っている。	B	B
		備品台帳に基づき、備品を適切に管理している。 協定書に従い、適切に修繕を行っている。	B	B
	環境配慮	環境配慮率選考計画取組点検表において、(1)が取組項目の2/3に達している。	B	B
	広報活動	事業の開催案内、ホームページの管理等を適切に行っている。	A	B
苦情等対応	要望、苦情等に対して迅速かつ適切に対応している。 要望、苦情等を整理し、市に報告している。	B	B	
利用者アンケート	利用者アンケート調査を実施し、その結果が妥当である。	B	B	
利用状況	利用実績は、目標水準である。	C	C	
総括	「業務の内容・水準」に関する評価【18項目】	B	B	
③安定性	経理事務	専用の口座、帳簿等を備え、適切に経理事務を行っている。	B	B
	予算執行	収支予算書の範囲内で適正に予算執行している。	B	B
	経費縮減	経費が縮減され、又は縮減に向けた努力を行っている。	B	B
	収支状況	収支予算書と比較して、収支状況は妥当である。	B	B
	総括	「経費の収支等」に関する評価【4項目】	B	B
所見 (成果・課題等)	(指定管理者自己評価)			
	・パンデミック後の電気料金高騰による経費圧迫の影響があり、市の補助がなければかなり事業費がひっ迫していた。			
	・記念館の展示縮小に伴い、船村徹ファンや昭和歌謡愛好者の心の拠り所が無くなるようで惜しむ声を大変多く頂き、改めて施設に寄せられたファンの声が嬉しい。			
	・日々のSNSや動画配信で県内でも有数の大変多くのフォロワー数を獲得でき、一つのメディアとしての発信力はパワーアップした。			
	・指定管理者の取り組みについて市民からの視点による評価も取り込み、数字に表れない指標も施設運営に活かしていく必要があると考える。			
(所管課評価)				
令和4年度については、広場の稼働率はコロナの影響で目標を達成することが出来なかったが、自主事業、ライブ配信、地域との連携事業に取り組みによって、ホールの稼働率を向上させたことが評価できる。自主事業においては、前年度と比べ事業費が削減されたが、事業の効果・検証が充分に出来たとは言えない。				
令和5年度から、新しい運営体制となり、船村徹記念館の入館料を無料にしたこと等から、今後の施設の利活用を検討しつつ、引き続き各施設の利用促進に向けた施策や営業活動を積極的に実施し、目標水準の達成に努めてもらいたい。				
前年度総合評価	B(良好)		総合評価	B(良好)

※評価区分

評価基準	A(優良) = 協定等の遵守に加え、仕様書より優れた管理が行われた。	総合評価	A(優良) = 自己評価、所管評価の《総括》にCが含まれず、かつAが4つ以上ある。
	B(良好) = 協定等を遵守し、仕様書に沿った管理が行われた。		B(良好) = A、C以外
	C(要改善) = 一部、協定等が遵守できていない。又は、不測の事態等により仕様書に沿った管理ができなかった。		C(要改善) = 自己評価、所管評価の《総括》にCが2つ以上含まれる。
※施設所管課は、指定管理者に対するモニタリングや事業報告書の内容等を踏まえ、評価します。			
※数値が記載されているものに関しては、数値目標達成がB評価となります。			
総括評価	A(優良) = 評価項目のうち、A判定が80%以上	総合評価	A(優良) = 自己評価、所管評価の《総括》にCが含まれず、かつAが4つ以上ある。
	B(良好) = A、C以外		B(良好) = A、C以外
	C(要改善) = 評価項目のうち、C判定が20%以上		C(要改善) = 自己評価、所管評価の《総括》にCが2つ以上含まれる。